

2017 年度 中央大学国文学会講演会

古典文学の書名

講師：小野 泰央 先生（本学教授）

日時：11月21日（火） 15：00～16：30

場所：中央大学多摩キャンパス 3号館 3114 教室

（受付は2階になります。2階からお入りください。）

—講演要旨—

日本古典文学作品における書名の構成は、その多くが「〇〇集」「〇〇伝」などの様に、内容（「〇〇」）とジャンル（「集」「伝」等）によって構成されている。それらはともに、中国古典作品の書名に由来する。ただし朝鮮古典文学作品の書名は、日本よりさらに忠実に中国古典作品に倣っている。日本においてはこの書名構成は、明治初期まで続く。とすると、明治以降の作品における書名には、欧米からの影響があるうか。

この三者、中国古典文学作品・朝鮮古典文学作品・日本近代文学作品における書名のあり方から、日本古典文学作品が炙り出されてくる。

—講師略歴—

1965年、山梨県韮崎市生まれ。1995年、中央大学大学院文学研究科国文学専攻博士課程後期単位取得満期退学。

2007年博士（文学）学位取得/中央大学。群馬工業高等専門学校教授、ノートルダム清心女子大学教授を経て、現職に至る。

[主要著書]

『創造するための文章』（真珠書院、2013）

『中世漢文学の形象』（勉誠出版、2011）

『平安朝天曆期の文壇』（風間書房、2008）

*参加費無料、事前申込不要。直接会場にお越し下さい。

*講演会后、1号館会議室にて18：00より懇親会を行います。お誘い合わせの上、ご参加下さい。

会費：3000円程度 ※学割有り

皆様お誘い合わせの上、ご来場ください

主催：中央大学国文学会 問い合わせ先：国文学研究室（042 - 674 - 3789）